

祈念モニュメントの設置

石巻専修大学震災報告書第2号ワーキンググループ

東日本大震災から1周年を迎えるにあたり、震災の被害にあった人々を慰霊するとともに、震災の記憶を風化させないために、何らかの祈念となるものを創りたいと大学と法人との間で話が進んでいた。同じころ、祈念となるものを創るために、関係各方面から寄付もいただいていた。時同じくして本学卒業生で社団法人大阪青年会議所に勤務する職員により、被災地のために何らかの活動したいと考えていた神戸在住の彫刻家・久保健史氏を紹介され、祈念モニュメントの設置が決まった。

平成24年3月19日、石巻専修大学『東日本大震災一周年行事、祈念モニュメント除幕式』が本学の本館正面入口前において、本学役員、来賓、震災で犠牲になった学生の遺族、及び作成者久保氏を含めて約40名の出席のもとに執り行われた。

式典では最初に坂田隆学長の挨拶の後に、学校法人専修大学日高理事長、富山専務理事、今野常務理事、甘竹校友会会長、早川専修大学育友会長、寺本専修大学北海道短期大学学長、大河原石巻育友会会長、伊東同窓会会長、石巻育友会役員のほか、祈念モニュメント建立に尽力していただいた社団法人大阪青年会議所杉本理事長、山崎理事らにより除幕式が執り行われた。

祈念モニュメントは大理石像で大学本館正面玄関前の正面と旧石巻市街の方向に向けて設置されており、石巻市の早急な復興を見守っているようである。さらにモニュメント中央部の空孔部を通過する太陽光が時間帯によって変化し、見学者に幻想的な姿を見せている。震災の情報や記憶は時と共に風化するが、祈念モニ

ュメントは半永久的に石巻専修大学の正面玄関にあつて、東日本大震災の記憶を思い返し、鎮魂と防災の気持ちを持たせようとするきっかけとなりつづけるであろう。

祈念モニュメントの作品紹介

〈祈念モニュメントの案内に描かれた久保氏の言葉より〉

『 Un nuage carré 』

(フランス語で「四角い雲」)

日本名サブタイトル[むこうのここには…]

～作品コンセプト～

自然界にあるもの、木、雲、空、雨、風、土、草花、…あらゆるものが興味深く心に降ってきます。その空気感をかたちにかえる。そうすると、そのかたちは優しく、楽しく、時にはシリアスにその空間をつかみだし物語をつくりだす。それは人々の心の隙間を埋めてくれるようにおもっています。



祈念モニュメント(本館正面玄関に向けて)



祈念モニュメント(本館正面玄関入口から市街にむけて)



祈念モニュメント側面



祈念モニュメントの案内

久保健史氏の略歴

- 昭和49年(1974) 兵庫県生まれ
- 平成9年(1997) 宝塚造形芸術大学卒業(現:宝塚大学)
- 12年(2000) 第5回石のさとフェスティバル石の彫刻コンクール展 最高賞(高松市)
- 13年(2001) 第1回世界陶磁器EXPO京畿道・記念公園コンペティション入選設置(韓国)
- 14年(2002) 第7回KAJIMA彫刻コンクール展 KAJIMA銀賞(東京)
あさご芸術の森美術館にて公開制作。作品設置(兵庫)
トスカーナ郊外ラポラノテルメにて滞在制作(イタリア)
- 15年(2003) 第1回GOAC2002 最優秀作品・大賞受賞(群馬)
BRANCUSIANA2003(ルーマニア)
石彫国際シンポジウム in まほろば(兵庫)
- 18年(2006) 2人展「なぜ私はここにいるのか?」塚脇淳×久保健史(ギャラリー揺/京都)
- 20年(2008) Te Kupenga Stone Sculptuer Symposium(ニュージーランド)

- 22年(2010) 個展 gallery morning Kyoto
全関西美術展 彫刻部門 第一席(大阪市立美術館)
- 個展 ミカリ・ギャラリー(大阪)
- 23年(2011) 個展 plus gallery morning Kyoto(京都)
Black stone project・International Sculpture Workshop(韓国・ポリョン)
県展 '11 県展大賞、部門大賞(兵庫)
2人展 / 久保健史×石川丘子 ギャラリー北野坂(神戸)個展 ギャラリーNEXT(大阪高島屋)
- 23年(2011) BenQ International Sculpture Workshop(台湾)
「プレゼント・スピリット」ただひとつだけの展(gallery morning Kyoto)
- 24年(2012) 朝展 部門大賞受賞 あさご芸術の森美術館(兵庫)4/30~
塚脇淳×久保健史展 アートコートギャラリー彫刻の小径(大阪)5/29~6/10
クボタケシ展 gallery morning Kyoto(京都)9/12~
3人展 姫路市立美術館(兵庫)

1 大学の動き
(平成23年4月)

2 震災に関する
研究活動

3 大学施設の地域
催事への提供

4 震災の影響に関す
る全学調査結果

5 防災・減災のための
備蓄品調達状況

6 震災に関する
取り組み
「インビュー」による紹介

7 震災2年目における
委員会等の活動と
本学の対応

8 阪神・東海に学ぶ

9 学内に結成された
サークルの活動